2025/05/14 22:01 東海化学工業会

東海技術サロン

2017年度のサロンは終了いたしました。多くのご参加ありがとうございました。

化学技術に関連した興味深いテーマを取り上げて、講演会を開催するとともに、講演会終了後は、講師を囲んだ懇親会を実施しています。

参加をご希望される方は、「申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAX (052-204-1469)にて事務局までご提出ください。

または、中部科学技術センターHPよりお申込ください。

Word PDF

2017年度案内(申込)





第112回東海技術サロン(CSTCフォーラム)

溶融塩・イオン液体の応用と開発動向

近年、イオンのみから構成され、液体状態を保持している材料として、溶融塩およびイオン液体が大きく注目されています。液体ながら、難揮発性、難燃性、高イオン導電性、高耐熱性などの特徴があり、構成イオンの設計や陽イオンと陰イオンの選択・組み合わせによって、機能を制御することが可能です。電解合成における水や有機溶媒とは異なる新しい溶媒としての応用、リチウムイオン二次電池やキャパシタ、燃料電池などの電気化学デバイスへの応用研究も進められ、さらには、バイオマス、真空技術、医療分野など、応用範囲が急速に広がっています。今回の東海技術サロンでは、この分野における先駆的な取り組みや注目される材料技術についてご講演いただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

●日 時:平成29年9月1日(金) 14:30-18:45

●場 所: 今池ガスビル 7階ダイアモンドルーム(旧B会議室)<詳細地図裏面参照>

名古屋市千種区今池一丁目8-8 TEL:052-732-3211

●主 催:東海化学工業会、公益財団法人 中部科学技術センター、

公益社団法人 化学工学会 東海支部

☆★☆プログラム☆★☆

14:30 開会 挨拶 東海化学工業会

14:35 講演 I 「効率的なMg, Liの溶融塩電解にむけて」 関西大学化学生命工学部 教授 竹中 俊英 氏

15:35 休憩

15:45 講演Ⅱ 「イオン液体の電気化学デバイスへの応用」

京都大学大学院 エネルギー科学研究科 教授 萩原 理加 氏

16:45 講演終了

17:00 交流会 挨拶 公益財団法人中部科学技術センター

場所 B1階 レストラン「Sucre(シュクレ)」

18:45 閉会

申し込み方法

定 員: 60名 (締切:8月25日(金)、ただし、定員になり次第締切ります)

参加費: **講演会1,000円、交流会6,000円**

(当日受付にて徴収、名札用に名刺をご用意ください)

申込方法: ①下記申込書をFAXでお申込ください。

②または、インターネットで、(公財)中部科学技術センターHP

よりお申込ください。(参加証は発行いたしません。)

問合せ先: 〒460-0011名古屋市中区大須1-35-18

(公財) 中部科学技術センター 担当 荒川・犬飼

T E L: 0 5 2 - 2 3 1 - 6 7 2 3 E-mail: <u>k.arakawa@cstc.or.jp</u>

第112回東海技術サロン参加申込書(CSTCフォーラム)

FAX:052-204-1469 (公財) 中部科学技術センター 荒川・犬飼行

月 日

会社名(機関名): 所在地:〒		参加に○をして下さい		
参加者氏名	所属部署・役職		講演会	交流会
連絡先部署	TEL ()	_	
担当者氏名	FAX ()	_	
担当者E-mail				

東海技術サロン講演一覧(~2016年度)

2025/05/14 22:01

東海化学工業会

題目

「再生医療の産業化―自家培養製品の開発」

「高度管理医療機器としてのコンタクトレンズ」

「生分解性マグネシウムを用いた医療デバイスの開発」

「ホロニック・パス-科学技術発展の方向を考えるー」

「静岡県の地震対策300日アクションプログラム」

「食と健康・老化」

「味覚・嗅覚情報の定量化にせまる-吟醸酒を例として」小林 猛氏 (名大院工)

「アメリカの企業風土-日本と比較して」

「誰でもできる発明・発見、とても易しい発明・発見」

「人生の勘どころ」

「長寿を目指す健康支援一新たな研究と戦略」

「お茶の化学成分とその機能性」

「基礎からわかる光触媒のはなし-21世紀を拓く環境技

術一」

「らせん高分子のナノ構造制御の魅力」

「窒化物半導体の研究と青色発光デバイスの創出」

「青色発光ダイオードの開発・実用化」

「カーボン・ナノテクノロジーの現状と将来」

「カーボンナノチューブのディスプレイデバイスへの実

用化技術の研究開発」

「携帯機器用燃料電池技術の現状と未来」

「自動車用燃料電池技術の現状と課題」

「メークアップ化粧品における粉体技術の応用」

「機能性食品の研究・開発-セサミンを中心にして-」

「ナノ空間材料の自動車排ガスへの応用:HCTrap

とスス燃焼触媒」

「エネルギーの大規模削減を可能とする規則性多孔体薄

膜技術の展望」

「アルツハイマー薬の開発」

「最新乳化・分散微粒化装置T.K.フィルミックス」

「ナノ粒子分散装置の開発とアプリケーションについて」

「名古屋のおいしい水」

「浄水器の最新技術」

「天然水および物理的処理水の水の会合構造の評価」

講演者

大須賀俊裕氏(ジャパン・ティッシ

ュ・エンジニアリング)

長谷川大貴氏(メニコン)

内田広夫氏(名大院医)

野田三喜男氏(愛教大)

渡辺晃男氏(静岡県防災局)

並木満夫氏(名大名誉教授)

飯久保祐一氏 (Great Lakes Chemical

Corp.)

宇田成徳氏(広島県技術アドバイザー)

松原敬生氏(東海ラジオ)

下方浩史氏(国立長寿医療研)

富田 勲氏(静岡産大)

垰田博史氏(産総研)

岡本佳男氏 (名大院工)

赤崎 勇氏(名城大学)

太田光一氏(豊田合成)

篠原久典氏(名古屋大学)

上村佐四郎氏(ノリタケ伊勢電子)

山口猛央氏 (東京大学大学院)

森本 友氏((株)豊田中央研究所)

鈴木高広氏 (ロレアル化粧品 (株))

小野佳子氏 (サントリー (株))

大久保達也氏(東京大学)

松方正彦氏(早稲田大学)

杉本八郎氏(京都大学大学)

澁谷治男氏(プライミクス)

院去貢氏(寿工業)

杉本智美氏(名古屋市下水道局)

上阪努氏(東レ)

近藤伸一氏(岐阜薬科大学)

2025/05/14 22:01 東海化学工業会

「新しい排水管理の手法-日本版WETの提案-」

「製造業の成長戦略-化学物質管理のビジネス上の重要性-I

「環境・技術コミュニケーション」

「レアメタル・レアアースのリサイクルと国際資源問題」

「泡沫での流れの制御によるレアメタルの高選択分離」

「自動車触媒における希少元素代替材料技術」

「産総研における新しい調光シートの開発 -調光ミラーシートとサーモクロミックシート- I

「ナノ多孔質シリカ粒子を用いた真空断熱材の開発」

「熱から電気を効率良く取り出す夢のセラミックス」 「セラミックリアクターを活用した次世代電池の最新動 向

-リバーシブルセル技術を活用する鉄空気二次電池-1

「電力貯蔵用NAS電池の実用化例と将来展望」

「トヨタにおけるHV/PHV用二次電池の取り組み」

「車載パワーデバイスの放熱信頼性向上とその動向」

「パワーデバイス用SiCウエハ技術開発の最新動向」

「パワー半導体モジュールの最新技術 ~高耐熱化、高放熱化、高信頼性化~」

鑪迫典久氏(国立環境研究所)

遠藤智道氏(社団法人産業環境管理協 会)

後藤尚弘氏(豊橋技術科学大学)

伊藤秀章氏(レアメタル資源再生技術 研究会)

二井 晋氏(名古屋大学)

高橋洋祐氏(ノリタケカンパニーリミ テド)

吉村和記氏((独)産業技術研究所)

井須紀文氏 ((株) L I X I L プロダク ツカンパニー)

河本邦仁氏(名古屋大学)

藤代芳伸 氏(産業技術総合研究所)

玉越富夫氏(日本ガイシ)

中西真二氏(トヨタ自動車)

神谷 有弘氏(デンソー)

加藤 智久氏(產業技術総合研究所)

高橋 良和氏(富士電機)